

## 2020年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	会計学特別研究
担当教員名	金子輝雄
科目のテーマ	<p>テーマ：現代企業会計制度の諸問題に関する研究</p> <p>受講者と相談の上、以下のいずれかの内容としたい。</p> <p>○「会計責任」概念の研究：「情報提供会計モデル」の限界と「利害調整会計モデル」の見直し。会計が会計たる所以は何か。</p> <p>○多国籍企業と IFRS：多国籍企業の租税回避行為の問題を念頭に、多国籍企業とその会計の実態を考察し、企業会計として何ができるかという検討を試みる。</p> <p>○電力産業の経営分析：原発を巡る諸問題、自由化と電力会社の経営、および原発の会計制度について、三者の相互関係の検討を通して、経済社会環境と企業会計制度の依存関係を確認し、企業会計制度の本質を理解する。</p>
科目内容・方法等	<p>前期課程とは違い方法論をある程度意識してもらいたい。ここでは、「人間幸福」のための会計研究を念頭に、現代企業会計制度を批判的に検討していく。</p> <p>テーマに関連する基本書に沿って研究を進める。</p> <p>○会計責任：安藤英義編著『会計における責任概念の歴史』中央経済社 2018年</p> <p>○多国籍企業と IFRS：グレイ他（小津訳）『多国籍企業の会計』中央経済社 2007年</p> <p>○電力産業の経営分析：電力産業経営分析研究会『電力産業の経営分析』同文館出版 2018年</p> <p>その他、関連する外国語文献や雑誌論文等を可能な限り参照したい。</p>